

そうたん

Episode 9

今回は「総合的な探究の時間(2年次)」の「歴史探究チーム」の取組だよ!



ありあけ新世マスコット
キャラクター しんぱち

2年次は、「可能性を切り拓く」ことを目標に、全員が課題研究に取り組んでいます。論理的思考力や課題解決能力を身につけるために、グループ研究または個人研究を行っています。ここでは、それぞれの取組を数回に分けて紹介します。

歴史探究チーム

平成28年度に本校の先輩が福島を訪問し、復興状況の視察、現地高校生との交流などを行いました。私たちのチームは「福島と大牟田にはもっと古い歴史的なつながりがあるのではないか」という疑問を解消するために、調査・研究を行っています。10月に福島を訪問しました。

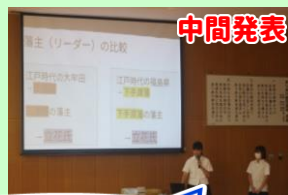
グループ研究の5つのチーム

地域活性化チーム
動画作成チーム
福島ボランティアチーム
歴史探究チーム
放射線測定チーム

「調べ学習・中間発表」

福島県と大牟田のつながりを調べたところ、江戸時代に、現在の福島県伊達市と大牟田市の間で領地替えが行われていることが分かりました。そこで、福島と大牟田では同じような名字があるか、似たような郷土料理があるかなどを調べてみたところ、「大蛇山まつり」と似た祭が福島にもあることを発見しました。今後、「大蛇山まつり」の発祥などについてさらに詳しく調査を進めていきます。

タブレットや書籍を使って調べました!



福島の下手渡藩主と三池藩主は同じ「立花氏」だったんです!

「フィールドワーク(大蛇山まつりなどの調査)」

調べ学習を通して、福島と大牟田のつながりをいくつか見つけることができました。そこで、大蛇山まつりや立花家史料館だけでなく、大牟田市石炭産業科学館や美術刀剣商武将館など、大牟田の歴史を知り、さらに福島とのつながりを示す資料がないか調査に出かけました。



三池藩陣屋跡(眼鏡橋)



立花家史料館にて

「福島訪問」令和5年10月1日(日)~4日(水)

「福島ボランティアチーム」の代表者とともに、「歴史探究チーム」の代表2名が福島を訪問しました。2日目に、ボランティアチームとは別行動で、伊達市(旧下手渡藩)に行きました。下手渡は美しい風景が広がる城下町で、歴史を感じる穏やかな町でした。「東香山耕雲寺」や「下手渡藩陣屋跡」を訪ね、福島県と大牟田の歴史的なつながりを調べました。「東香山耕雲寺」では、住職様や下手渡藩士の末裔の方から、下手渡藩の歴史や柳川の立花氏とのつながりなどを教えていただきました。「下手渡藩陣屋跡」では、立花氏の功績や今でも残っている城下町の跡を調べることができました。また、平成2年には大牟田市から親善訪問が行われており、当時植樹された大牟田市の花のやぶつばきが元気に大きく成長しているのを見ることができました。

生徒感想より

- インターネットに載っていること以上に、立花氏が代々、素晴らしい歴史を残していることが分かり、現地に行っておそ得られる貴重な経験になりました。
- 実際に現地に行き、本やインターネットだけでは分からない貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。福島と大牟田の歴史を調べていくのはとても楽しかったです。とても良い経験になりました。



下手渡の風景



東香山耕雲寺



耕雲寺侍墓地



下手渡藩陣屋跡



御前井戸(下手渡藩陣屋跡)



陣屋太鼓櫓跡からの城下町



大牟田市の花「やぶつばき」

大牟田と福島は昔からつながりがあったんだね!

ありあけ新世マスコット
キャラクター ありしい